



令和3年7月13日

「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト FS」 採択機関の決定について

「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト FS」の採択機関を決定しましたので、お知らせします。

1. 事業の概要

近年、マテリアル研究開発の効率化・高速化・高度化が求められており、データやAIを活用した新たな研究開発手法や研究開発環境の本格導入など、研究のデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性が高まっています。

このため、文部科学省では、従来の研究手法に加え、データサイエンス的手法を戦略的に活用することで革新的なマテリアル創出を目指す「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト事業」のFS(フィージビリティスタディ)を実施します。

FSでは、次世代を担う研究代表者を中心に、

- ・材料創製とそのための計測評価・理論計算・データサイエンスが有機的に連携した研究開発体制
- ・社会的・産業的ニーズが高いことに加え、データサイエンスとの親和性が高く効率的な成果創出が期待される研究課題

等について、ワークショップなどを通じて検討を進め、データ駆動型研究を取り入れた次世代の研究方法論を具体化します。

2. 採択機関

別紙1に掲げる機関の採択を決定しました。

3. 決定までの経緯等

令和3年4月27日（火曜日）～令和3年5月31日（月曜日）の期間において、公募を実施し、計10機関からの応募がありました。その後、別紙2に記載の外部有識者から構成される審査委員会を開催し、書類審査及び面接審査を経て採択機関を決定しました。

（お問い合わせ）

研究振興局

参事官（ナノテクノロジー・物質・材料担当）付

電話：03-5253-4111（内線 4100）

03-6734-4100（直通）

F A X：03-6734-4103

E-mail：nanozai@mext.go.jp

「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト FS」採択機関

代表機関	国立大学法人東北大学
研究代表者	古原 忠
代表機関	国立大学法人京都大学
研究代表者	沼田 圭司
代表機関	国立大学法人東京工業大学
研究代表者	神谷 利夫
代表機関	国立大学法人東京大学
研究代表者	杉山 正和
代表機関	国立研究開発法人物質・材料研究機構
研究代表者	大久保 忠勝

データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト

F S 審査委員会

構成員名簿

- 伊藤 聡 公益財団法人計算科学振興財団 チーフコーディネータ
- 岡島 博司 トヨタ自動車株式会社先進技術統括部 主査
- 菅野 了次 東京工業大学科学技術創成研究院全固体電池研究センター
長・特命教授
- 主査 栗原 和枝 東北大学未来科学技術共同研究センター 教授
- 村山 英樹 株式会社地球快適化インスティテュート 代表取締役社長
- 山下 秀 新構造材料技術研究組合 (I S M A) フェロー・プロジェクトマネージャー

(50 音順)